

特記仕様書  
1 工事概要  
1 工事番号・名称 鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事  
2 工事場所 伊賀市鳥ヶ原13680  
3 用途地域等 都市計画区域(内・外)用途地域( )  
防火地域等(防火・準防火・指定なし) 〇22条)  
その他の地域・地区(非線引き地域)  
4 主要用途 温泉施設  
5 敷地面積 66356.34㎡  
6 工事の概要 鳥ヶ原温泉やぶつちやの温泉施設等の空調設備の全面改修工事  
施設概要 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1階  
延床面積: 2400.50㎡  
温泉棟 1567.40㎡ 健康づくり棟 833.10㎡

7 別途工事  
8 施工条件  
施工可能日時  
・ 施設休館日の火曜日  
・ 夜間作業(21時30分～9時30分)は毎日可能  
・ 上記以外については監督員、施設管理者と協議し決定する。  
9 特記仕様書の範囲  
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印のもので構成する。  
・ 構造特記仕様書  
・ 外構工事特記仕様書  
・ 植栽工事特記仕様書  
・ 解体工事特記仕様書  
・ 電気設備工事特記仕様書  
・ 機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様  
1. 共通仕様  
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)  
2. 特記仕様  
1) 項目は、番号に〇印のついたものを適用する。  
2) 特記事項は、①印のついたものを適用する。①印のつかない場合は※印のついたものを適用する。①印と②印のついた場合は、共に適用する。  
3) 特記事項に記載の( )、< >及び[ ]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

⑧ 建築材料等  
材料の品質等 (1.4.2)  
本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。  
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。  
環境への配慮 (1.4.1)  
本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。  
ホルムアルデヒド仕様  
使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。  
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合の該当する建築材料  
1) J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品  
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品  
3) 次の表示のあるJ A S適合品  
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用  
b. 接着剤等不使用  
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用  
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用  
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用  
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)  
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。  
測定対象物質 ※ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 μg/m<sup>3</sup> ・ 0.08ppm)  
※ フォルムアルデヒド(濃度指針値 220 μg/m<sup>3</sup> ・ 0.05ppm)  
※ トルエン(濃度指針値 260 μg/m<sup>3</sup> ・ 0.07ppm)  
※ エチルベンゼン(濃度指針値 3,800 μg/m<sup>3</sup> ・ 0.88ppm)  
※ キロリン(濃度指針値 200 μg/m<sup>3</sup> ・ 0.20ppm)  
測定する室等: ( )  
採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。  
測定結果等報告書の提出  
次の事項を記載した報告書を2部提出する。  
a 測定結果  
b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)  
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器  
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。  
・ 総揮発性有機化合物の測定  
測定方法、測定物質及び測定場所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。  
※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。  
「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。  
適用工事 建築基準法の指定  
・ 長尺金属板葺  
・ 折板葺  
・ 粘土瓦葺  
・ ガラスブロック  
・ 押出成形セメント板外壁パネル  
・ 重量シャッター  
・ オーパーヘッドドア  
※ 図示  
・ 現状平均地盤高  
⑬ 技能士 (1.5.2)  
・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。  
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。  
・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

1 金属工事  
・ 内装仕上施工(鋼製下地工事作業)  
・ 建築板金(内外装板金作業)  
・ パルコニー施工(金属パルコニー工事作業)  
左官工事  
・ 左官(左官作業)  
建具工事  
・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)  
・ ガラス施工(ガラス工事作業)  
・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)  
カーテンウォール工事  
・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業)  
・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)  
・ ガラス施工(ガラス工事作業)  
塗装工事  
・ 塗装(建築塗装作業)  
内装工事  
・ 内装仕上施工(プラスチック系床仕上工事作業  
・ カーペット系床仕上作業  
・ 木質系床仕上げ工事作業  
○ボード仕上工事作業)  
・ 表装(壁装作業)  
排水工事  
・ 配管(建築配管作業)  
舗装工事  
・ 路面表示施工(・溶融「イントラント」マーカ工事作業  
・ 加熱「イントラント」マーカ工事作業)  
植栽工事  
・ 造園(造園工事作業)  
作成する  
・ 作成しない  
※ 完成原因(ケース収納) 1部  
※ 2つ折製本 2部  
※ 施工計画書 2部  
※ 施工図及び保全に関する資料 2部  
※ 白焼縮小(A3版)2つ折製本 2部  
※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式  
若しくはTIFF形式(解像度300DPI程度) CD2枚  
作成する  
・ 作成しない  
完成届に添付する完成写真とは  
次のものを原簿(ネガ又は電子媒体)とともに監督職員に提出する。  
なお、原簿を電子媒体とする場合は、CD等提出すること。  
分 類 サイズ 撮影箇所数 部 数 提出様式  
※カラー ※L ※各種 ※工用アルバムA4版  
・ 白黒 ・ 2L 外部 4枚 ※2部 ポケット式程度  
・ 六切り 内部 各室2枚 ・ 部 ・ フリーアルバム  
(台紙寸法323×270程度)  
施工範囲 各工事の区分表による。  
施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。  
工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。  
保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険  
保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで  
住宅瑕疵担保責任  
住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け  
・ あり(新築住宅の場合) ・ なし(新築住宅以外の場合)  
1. 仮囲い ※ 設ける ・ 設けない  
仮囲いの位置及び延長は図示による。  
・ シートゲート(H= ) × W= ) × 箇所  
2. 危害防止 ※ シート張り ・ 金網養生  
3. 交通誘導員 ・ 配置する( 日 × 人 = 人日) ※ 配置しない  
4. 揚重機械器具 ・ トラッククレーン( t吊り) × 日  
( t吊り) × 日  
5. 監督職員事務所 ※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する)  
・ 設ける(規模 m程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否)  
備品( )  
6. 工事表示板 ※ 設置する(設置枚数 1枚) ・ 設置しない  
営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)による。  
7. 事業コスト表示板 ・ 設置する(設置枚数 ※ 1枚 ・ 枚) ※ 設置しない  
営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)による。  
8. 工事用水 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない  
9. 工事用電力 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない  
10. 工事用通路 ※ 指定しない ・ 指定する(図示)  
11. 足場等 (2.2.4)  
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法に関する足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。  
3章 土工事～18章 塗装工事 欠番

19 内装工事  
1. ビニル床シート  
JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)  
種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法  
※ 発泡層のないもの ※ F S ※ 無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※ 熱溶接  
・ HS ・ マーブル ・ 2.5 ・ 耐動荷重 ・ 突付け  
・ 発泡層のあるもの ・ K S ・ ・ ・ ・ ・  
目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法  
2. 化粧ビニル床シート  
JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの  
種別の記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法  
F S ※ 木目調 ※ 2.0 ・ 帯電防止 ※ 熱溶接  
・ 石目調 ・ 2.5 ・ 耐動荷重 ・ 突付け  
上記以外はすべてビニル床シートと同じ目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法  
3. ビニル床タイル  
JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)  
種 類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能  
※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・ 帯電防止  
・ ビニル床タイル ・ ・ ・ ・ ・  
・ 複層 ・ F T ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 帯電防止  
・ ビニル床タイル ・ 450×450 ・ ・ ・ 耐動荷重  
帯電防止  
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455) 1.2～3.1程度  
又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下  
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455) 3.2～5.1程度  
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup>オーム未満  
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455) 5.2以上  
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10<sup>7</sup>オーム未満  
耐動荷重  
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。  
5. 視覚障害者用床タイル (19.2.2)  
材 質 寸法(mm)  
・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 300×300  
6. ビニル幅木 (19.2.2)  
材 種 ※ 軟質 ・ 硬質  
高 さ(mm) ※ 60 ・ 7.5 ・ 100  
厚 さ(mm) ※ 1.5 ・ 2.0  
7. カーベットの敷き (19.3.2)(19.3.3)(表19.3.2)  
施工箇所 バイル バイル 工 法 品 質 帯電性  
形状 長さ(mm) 形状 長さ(mm)  
※ 全面接着工法 (19.3.2)  
・ グリッパー工法による  
品質は参考商品名である  
・ タイルカーベットの仕様による  
施工箇所 種 類 バイル形状 寸 法 総厚さ 帯電性  
※第1種 ※ループバイル ※500×500 ※ 6.5 製造所の  
・ 第2種 ・ カットバイル ・ ・ ・ 仕様による  
8. 合成樹脂塗床 (19.4.2)  
材料の種類  
・ 厚膜型塗床材  
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材  
・ エポキシ樹脂系塗床材  
・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材)  
仕上の種類 (19.4.3)  
・ 平滑仕上げ  
・ 防汚仕上げ  
・ つや消し仕上げ  
9. フローリング張り (19.5.2～3)(19.5.5～6)(表19.5.3～4)  
種 別 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装  
・ フローリング ※なら ※15幅 7.5 ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂  
ボード1等 ・ ・ ・ 長さ400以上 ・ 接着工法 ・ ワニス塗り  
・ オイルステンス塗りの上  
・ ワックス  
・ 生地のまま  
・ ワックス  
・ 既塗装品  
・ 複合フローリング  
種 別 樹種 種別 防湿処理 工法 塗装  
・ 複合 ※なら ・ A種 ・ 行う ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂  
フローリング ・ ・ ・ B種 ※行わ ・ 接着工法 ・ ワニス塗り  
・ ・ ・ ・ C種 ない ・ ・ ・ オイルステンス塗りの上  
・ ワックス  
・ 生地のまま  
・ ワックス塗り  
・ 既塗装品  
・ 大型積層 フローリング ・ なら ・ ・ ・ 行う ・ 特殊張り  
・ さくら ・ ・ ・ ・ ・ 行わ ・ 工法 (体育館床) ・ 既塗装品

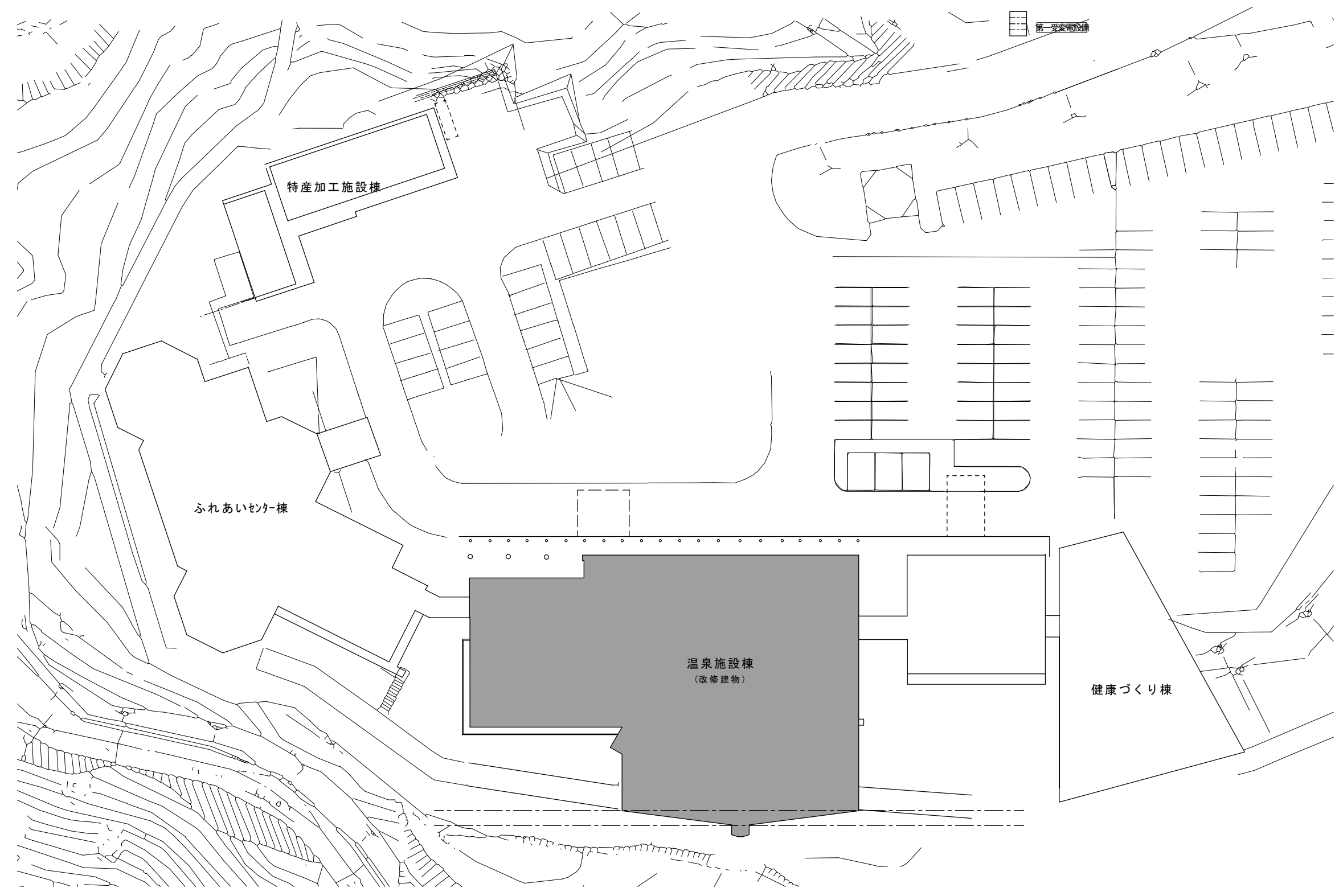
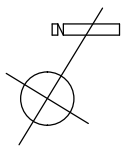
図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺 NS	鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	A-01
			図面名称	
			特記仕様書1	

19 内 装 工 事	10. 畳敷き ⑪ 石こうボード その他ボード 及び合板張り	畳の種類 ・ A種 ・ B種 (19.6.2) (表19.6.1) ※ C種 ・ D種 (19.7.2~3) (表19.7.1) (表19.7.5)	種類又は記号	種類など	厚さ(mm)	規格番号		
		けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK		壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃) 天井 ・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)			
		グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B	グラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品	25(不燃)	JIS A 6301 (32K)			
		ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) 立体 ・ 12(不燃) 模様 ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	JIS A 6301			
		せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R		壁 ⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901			
		シーシング せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S		壁 12.5(準不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	JIS A 6901			
		強化せっこうボード (せっこうボード製品) GB-F		・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901			
		不燃積層 せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC	トラバー チン模様 色 ※白 ・ 黄	9.5(不燃)	JIS A 6901			
		化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-D	木目模様 (裏積付き) 特殊模様	壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901			
		せっこうボードの目地処理	※ 継目処理工法 ・ 突付けV目地工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法					
		12. 遮音シール材	・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)					
		13. 壁紙張り						
		14. 断熱材	品質は参考商品名である。					
		断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2) (19.9.3)						
		種	類	箇所	厚さ(mm)	備考		
		・ ビーズ法ポリ スチレンフォ ーム断熱材	・ A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b		※ 25	JIS A 9521の JIS表示認証製品		
		※ 押出法ポリス チレンフォ ーム断熱材 (A種)	・ 2種b ・ 3種b (スキン層 あり)	下記以外 接地部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25			
		・ 硬質ウレタン フォーム断熱材	・	・	・			
		・ フェノール フォーム断熱材	・	・	・	JIS A 9521の JIS表示認証製品		
・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム断熱材	※A種 1H	・	※ 30	JIS A 9526 による難燃性 ・ 2級 ※3級				
・	・	・	・					
※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。								
上記以外に用いる断熱材								
種	類	箇所	厚さ(mm)	備考				
・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・ A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層 あり)	下記以外 接地部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25	JIS表示認証製品				
・ グラスウール 保温材	※24K品		※ 100	JIS表示認証製品				
※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)								

特記仕様書 (解体工事) I 工事概要は特記仕様書Iに準じる。	
II 建築工事仕様	
1. 共通仕様	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
1 一般共通事項は、特記仕様書Iに準じる。	
2 1. 仮囲い	※ 設ける (位置、延長等は図示) ・ 万能鋼板 (H= ) ・ 波形鉄板 (H= ) ・ 単管シート (H= ) ・ 防音シート (H= ) ・ 防音パネル (H= ) ・ パネルゲート (W= H= ) × 箇所 ・ シートゲート (W= H= ) × 箇所 ・ 設けない
2. 騒音、防塵等の対策	※ 設ける (適用範囲、高さ等は図示) [2.2.1] ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 養生シート ・ 設けない
3. 交通誘導員	※ 配置する ( 日 × 人 = 人日) ・ 配置しない
4. 監督職員事務所	・ 設ける [2.3.1] ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する (規模 m程度) ・ 備え付ける備品 ( ) ※ 設けない
5. 工事表示板	営繕工事における工事及びコスト表示要領 (平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。 ※ 工事表示板 設置枚数 1枚 ・ 事業コスト表示板 設置枚数 枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。
6. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
7. 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
8. 工事用通路	※ 指定しない 指定する (図示)
5. 足場等	外部足場 ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 <2.2.4> ・ 設置しない <表2.2.1> 防護シート ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する ( ※脚立、足場板等) ・ 設置しない ・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター ( ) D種: 利用可能な階段 ( ) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
10. その他	・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。
3 ① 解体工法	※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準 (建設リサイクル法規則第2条)」による。
② 施工計画書等	[1.2.1~2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。
3. 杭	杭の解体 [3.9.2] ・ 行う (※杭頭から mまで ・ 全長 ) 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法 ( ・ 振動 ・ ケーシング ) ・ 粉砕による解体
4. 樹木等	樹木の伐採伐根 ・ 行う (図示による) [3.11.1] 樹木の移植 ・ 行う (図示による)
5. 地下埋設物の埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 [3.12.1] ・ 行う (図示による)
6. 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛り土 [3.13.1] ・ 行う 埋戻し及び盛り土の材料 (3.2.3) (表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの (粒径40mm以下)を使用する。 埋戻し範囲 ・ 図示による C種の場合 建設発生土受入れ量 m3 発生場所 受入条件 整地の高さ ・ 現状GL ・ 図示による

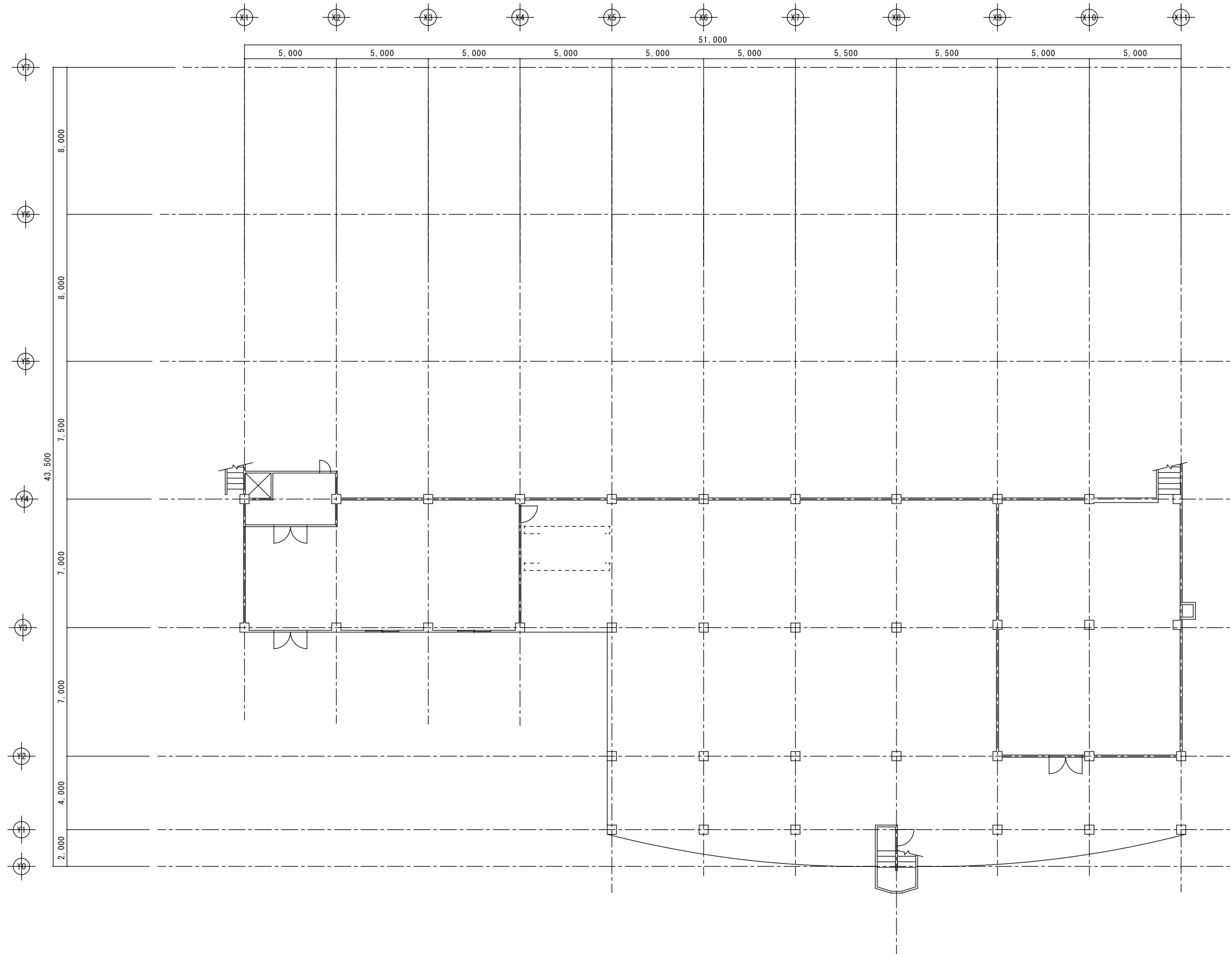
4 建 設 廃 棄 物 の 処 理	1. 再資源化等	[1.3.10] [4.4.1] 建設廃棄物の種類 ・ コンクリート ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・ アスファルト、コンクリート ・ 木材 ・ 金属類 ・ 小形二次電池 中間処理施設又は再資源化施設の名称等 所在地 (km)
	2. 産業廃棄物広域認定制度の活用	[4.4.1] 建設廃棄物の種類 ・ 蛍光灯 HIDランプ ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手 ・ ガラス 再資源化の有無 ・ する ・ しない ・ する ・ しない ・ する ・ しない 再資源化施設の名称等 所在地 (km)
	3. 最終処分	[4.4.3] 現場利用する再資源化された建設廃棄物の種類 利用する場所(箇所)等 ※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシュラン (0~40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。
	4. 処分に注意を要する建設廃棄物	[4.4.2] 種類 所在地等 (km) [4.4.3] ・ (安定型) 種類 受入施設名称等 所在地 (km) 備考 ・ (管理型) (遮断型) 種類 受入施設名称等 所在地 (km) 備考 1~3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること [4.5.1] 種類 処理施設名称等 所在地 (km) 備考 ・ CCA処理木材 ・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏 (株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード (株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの
	3 ① 解体工法	※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準 (建設リサイクル法規則第2条)」による。
	② 施工計画書等	[1.2.1~2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。
	3. 杭	杭の解体 [3.9.2] ・ 行う (※杭頭から mまで ・ 全長 ) 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法 ( ・ 振動 ・ ケーシング ) ・ 粉砕による解体
	4. 樹木等	樹木の伐採伐根 ・ 行う (図示による) [3.11.1] 樹木の移植 ・ 行う (図示による)
	5. 地下埋設物の埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 [3.12.1] ・ 行う (図示による)
	6. 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛り土 [3.13.1] ・ 行う 埋戻し及び盛り土の材料 (3.2.3) (表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの (粒径40mm以下)を使用する。 埋戻し範囲 ・ 図示による C種の場合 建設発生土受入れ量 m3 発生場所 受入条件 整地の高さ ・ 現状GL ・ 図示による

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
			鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	A-02
		縮尺 NS	図面名称 特記仕様書2	



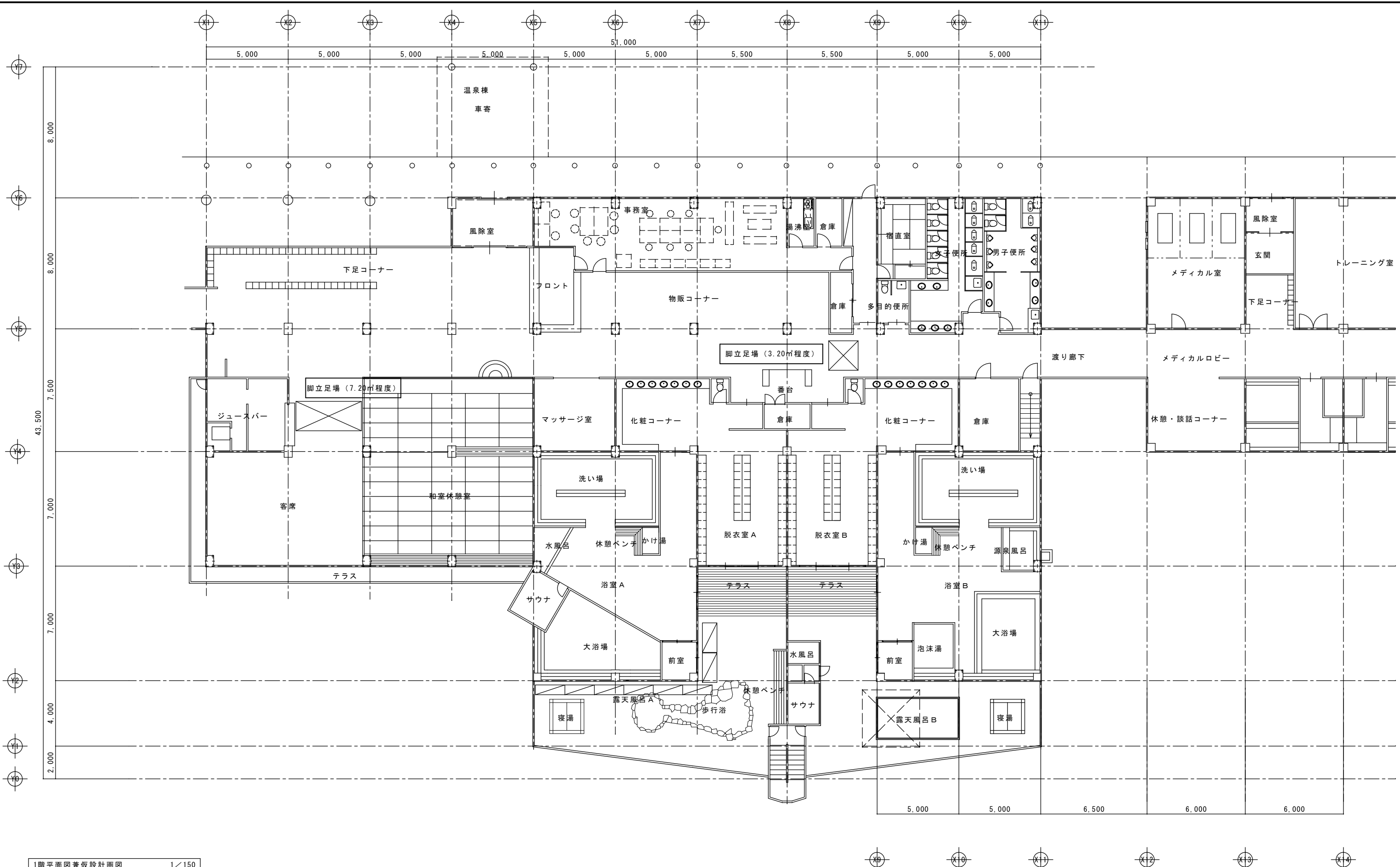
配置図 1/400

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号
		縮尺 (A2) 1/400 (A3) 1/563	図面名称 配置図 付近見取図	A-03



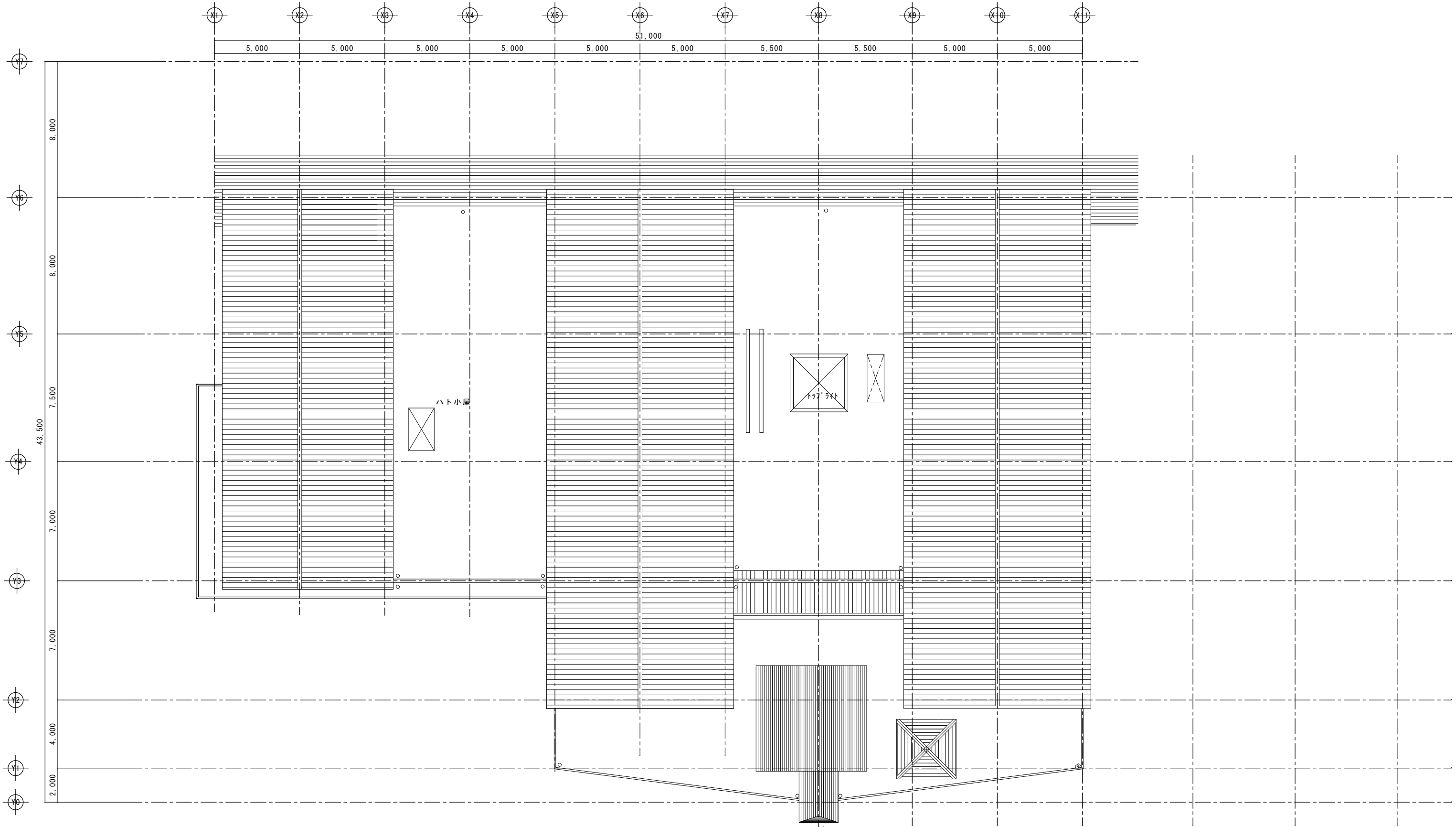
B1階平面図 1/150

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 A-04
		縮尺 (A2) 1/150 (A3) 1/212	図面名称 B1階平面図	



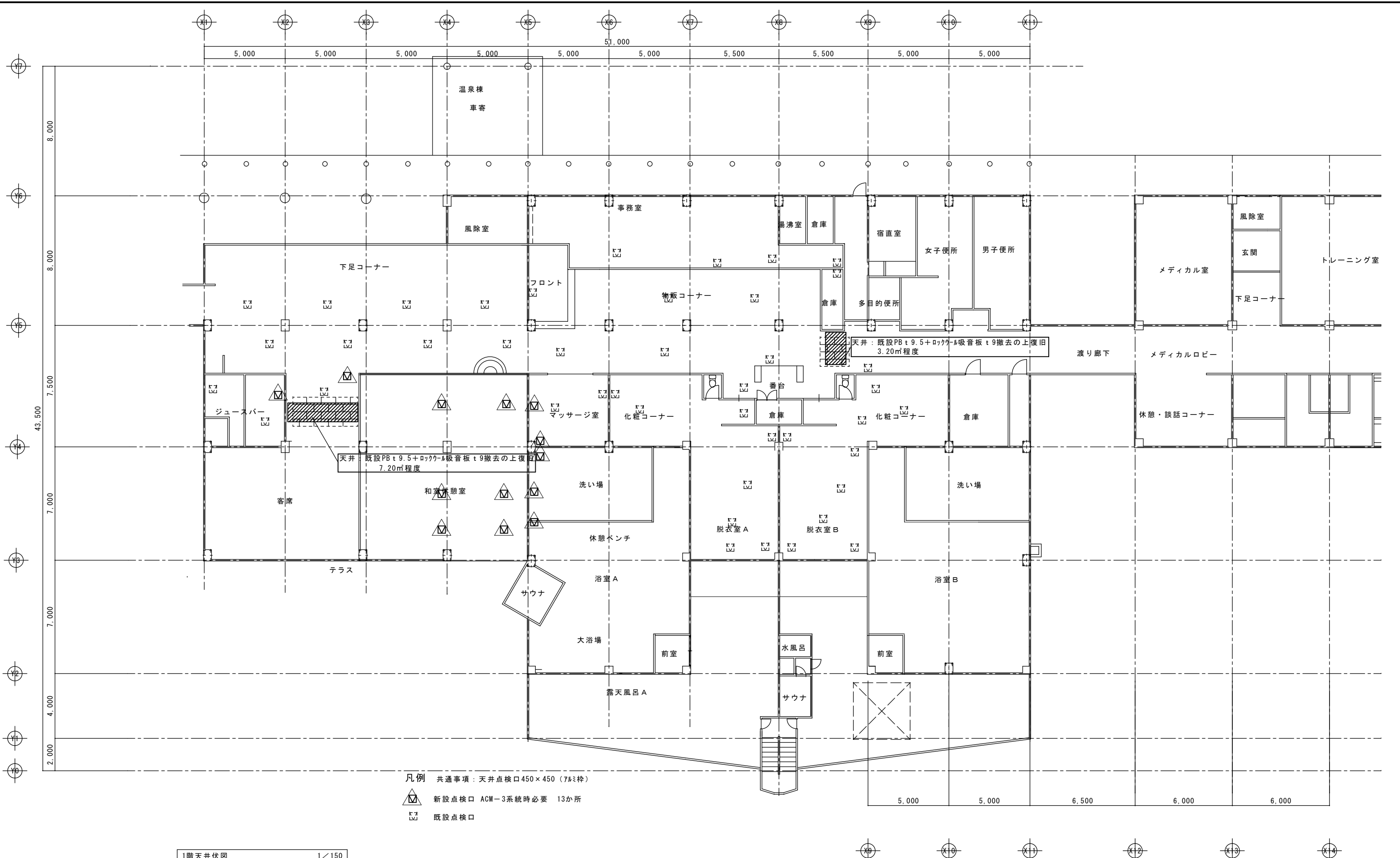
1階平面図兼仮設計図面 1/150

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 A-05
		縮尺 (A2) 1/150 (A3) 1/212	図面名称 1階平面図兼仮設計図面	



屋根伏図 1/150

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号
		縮尺 (A2) 1/150 (A3) 1/212	図面名称 屋根伏図	A-06



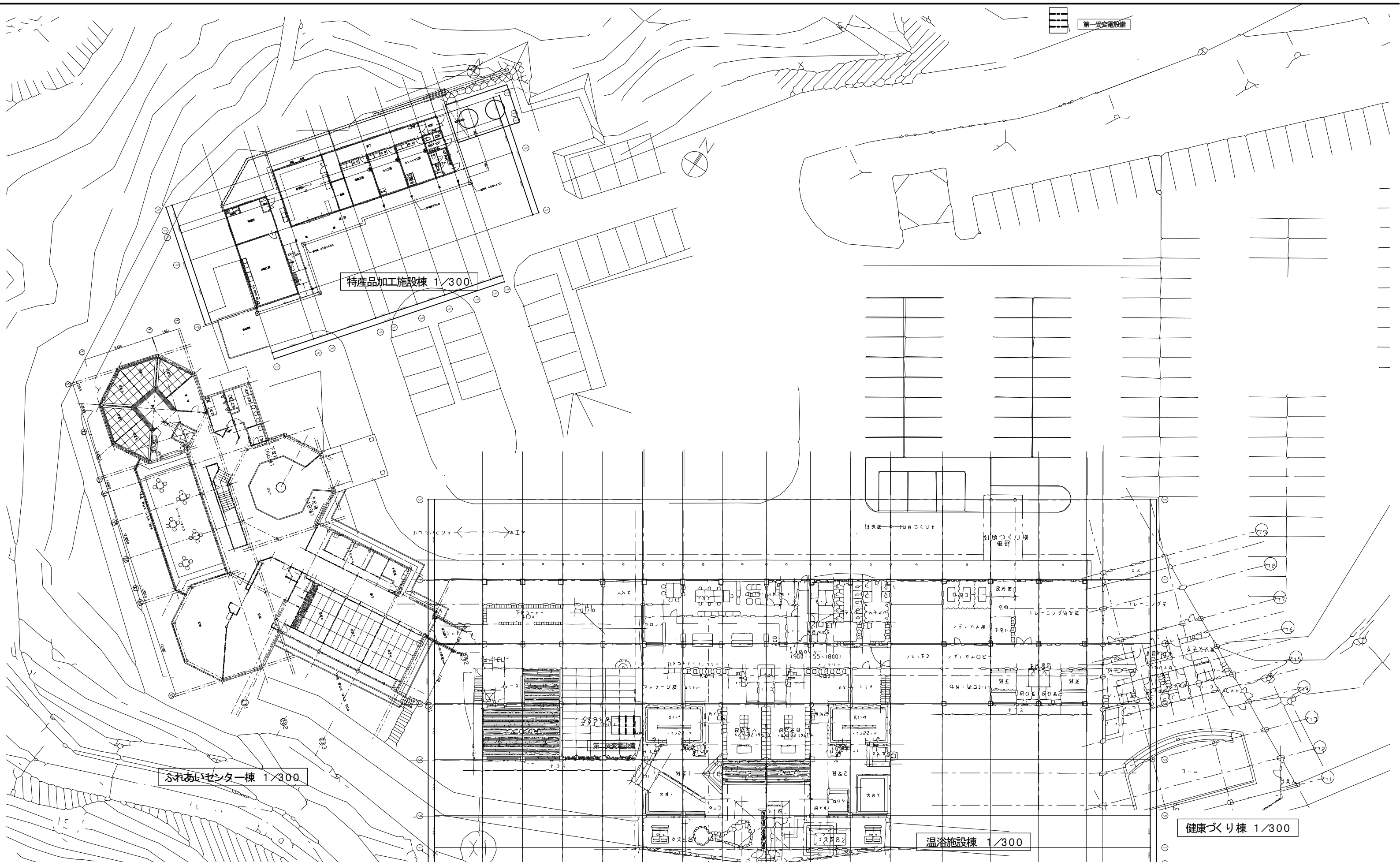
- 凡例 共通事項：天井点検口450×450 (7ℓミ枠)
- 新設点検口 ACM-3系統時必要 13か所
  - 既設点検口

1階天井伏図 1/150

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺 (A2) 1/150 (A3) 1/212	島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	A-07
			図面名称	
			1階天井伏図	







特産品加工施設棟 1/300

ふれあいセンター棟 1/300

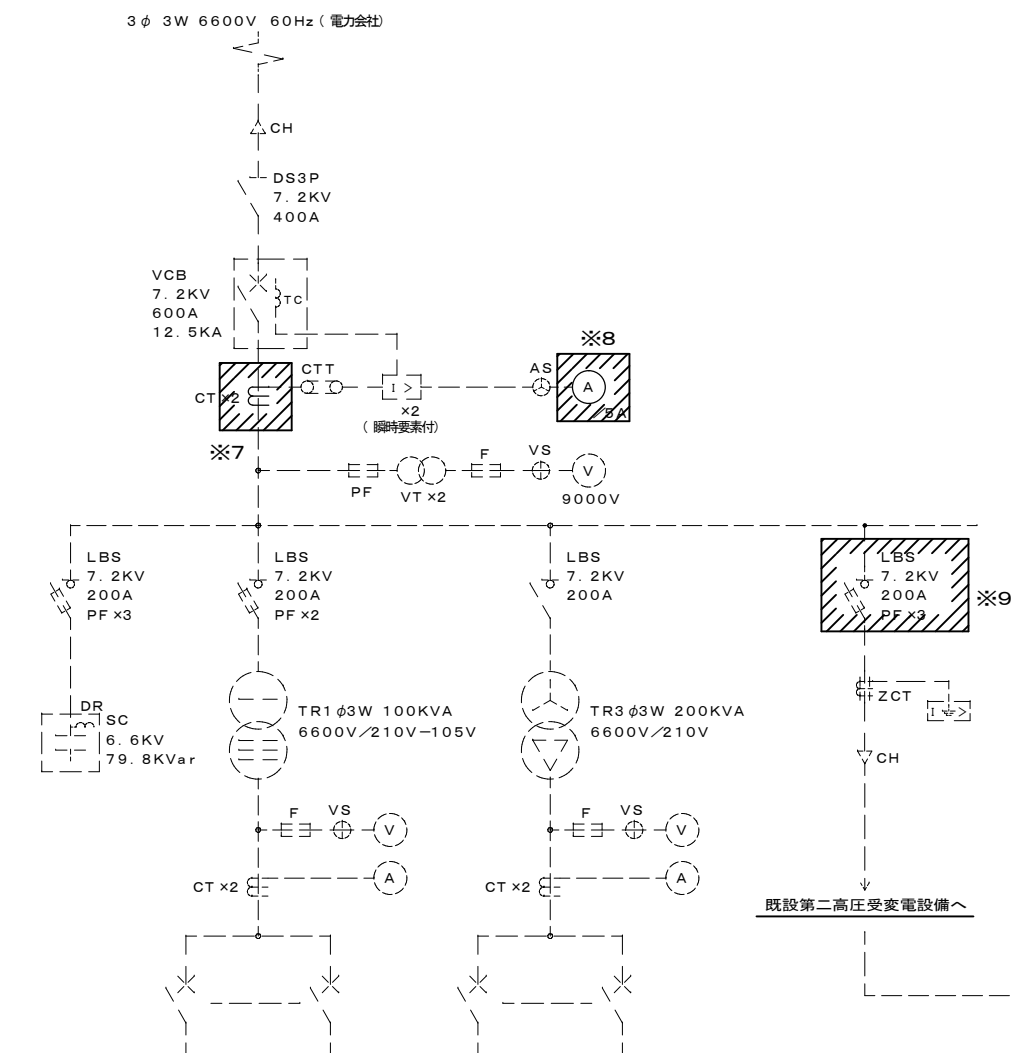
温浴施設棟 1/300

健康づくり棟 1/300

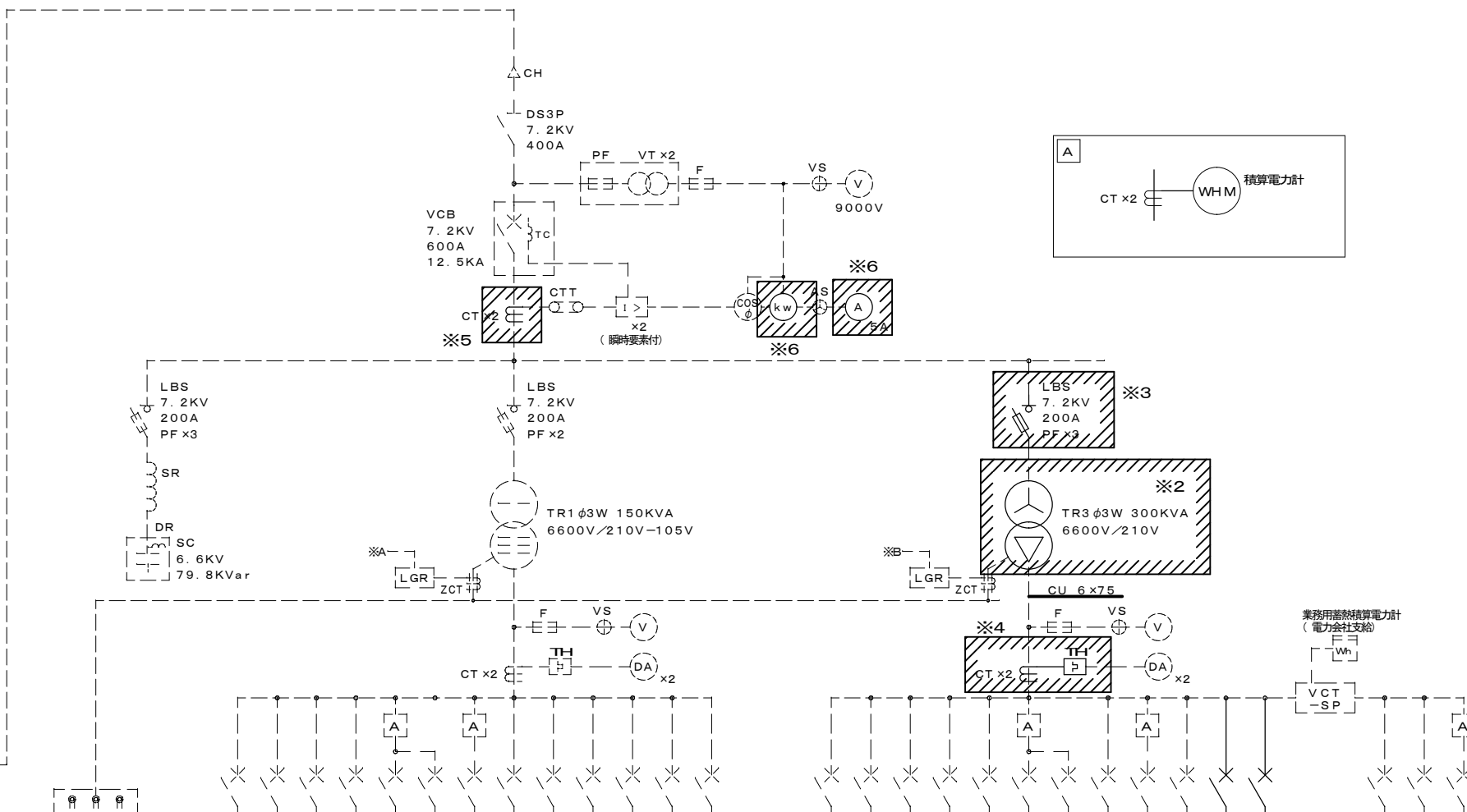
第一受変電設備

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 E-02
		縮尺 A2=1/300 A3=1/424	図面名称 電気設備 配置図	

既設 第一高圧受変電設備改造単線結線図



既設 第二高圧受変電設備改造単線結線図



- 改修内容   内の取替えを行うこと
- ※1 新設開閉器の取付を行うこと。改修済み
  - ※2 既設 動力変圧器(200kVA-6.6kV/210V) 撤去後、新設 動力変圧器(300kVA-6.6kV/210V)に取替とする。
  - ※3 既設高圧負荷開閉器(LBS)・高圧環流ヒューズ(30A) 撤去後、新設(40A)に取替とする。
  - ※4 既設 CT(変流器)・Th(サーマルリレー)等 撤去後、新設に取替とする。
  - ※5 既設 CT(変流器) 撤去後、新設に取替とする。
  - ※6 既設 メーター類 撤去後、新設に取替とする。
  - ※7 既設 CT(変流器) 撤去後、新設に取替とする。
  - ※8 既設 メーター類 撤去後、新設に取替とする。
  - ※9 既設高圧負荷開閉器(LBS)・高圧環流ヒューズ(75A) 撤去後、新設に取替とする。

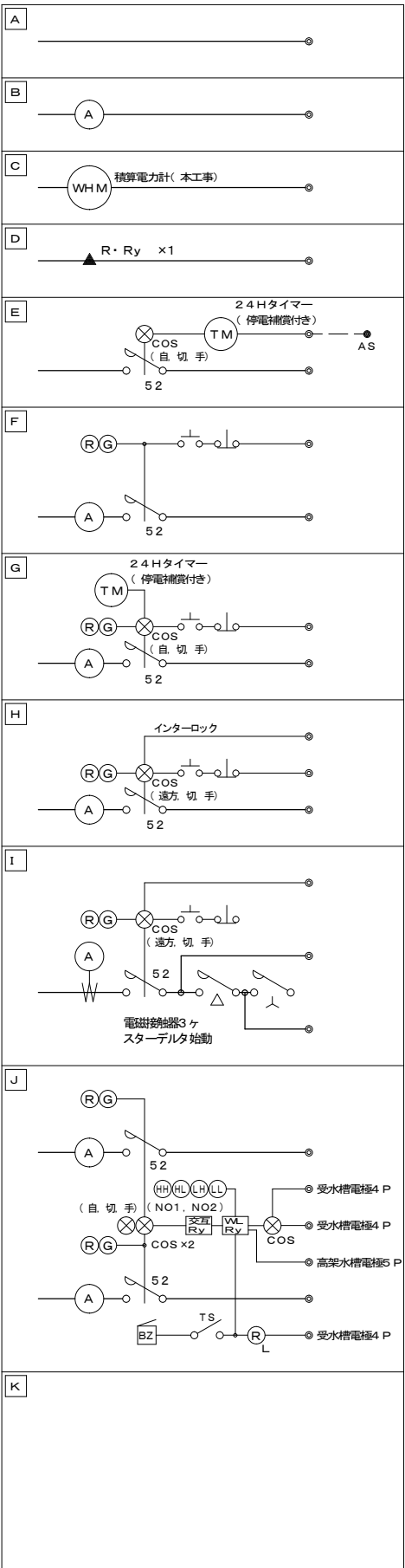
幹線NO	負荷名称	容量(KVA)	配線サイズ	開閉器
L 1	1LM-A-1	20.7	38"	3P MCB 100/100
L 2	1L-A-1	35.8	100"	3P MCB 225/175
L 3	1L-A-2	26.9	60"	3P MCB 225/150
L 4	BL-A-1	6.8	14"	3P MCB 100/50
L 5	1L-P-1 メチルカド プールの 下	18.8	38"	3P MCB 100/100
L 6	1L-P-2	19.0	38"	3P MCB 100/100
L 7	加工棟 L-1	26.8	100"	3P MCB 225/200
	予備			3P MCB 100/100
	退廃用警報			2P MCB 50/20(100V)
	LGR			2P MCB 50/20(100V)
	所内電源			2P MCB 50/20(100V)
	C・SRX 引外し回線電源			2P MCB 50/20(100V)
	高圧地盤警報			2P MCB 50/20(100V)

幹線NO	負荷名称	容量(kw)	配線サイズ	開閉器
M 1	BM-A-1	32.3	60"	3P MCB 225/200
M 2	1LM-A-1	10.5	22"	3P MCB 100/75
M 3	プレハブ冷蔵庫	15.0	22"	3P MCB 100/75
M 4	サウナ制御盤	24.0	22"	3P MCB 100/100
M 5	ろ過制御盤 (退廃用)	22.0	38"	3P MCB 225/125
M 6	ろ過制御盤 (健康づくり)	8.0	22"	3P MCB 100/75
M 7	1M-P-1	17.2	22"	3P MCB 100/100
M 8	浄化槽制御盤	9.1	22"	3P MCB 100/75
M 9	加工棟 M-1	28.5	100"	3P MCB 225/200
	露天車庫高圧充電機			3P MCB 100/100
	高圧地盤警報	24.13	60"	3P MCB 225/125
	今般空調用	45.89	100"	3P MCB 225/200
	ACM-1			
	ACM-2			
	床暖房制御盤	16.6	38"	3P MCB 100/100
	床暖房制御盤	26.9	60"	3P MCB 225/150
	床暖房制御盤	26.5	60"	3P MCB 225/150

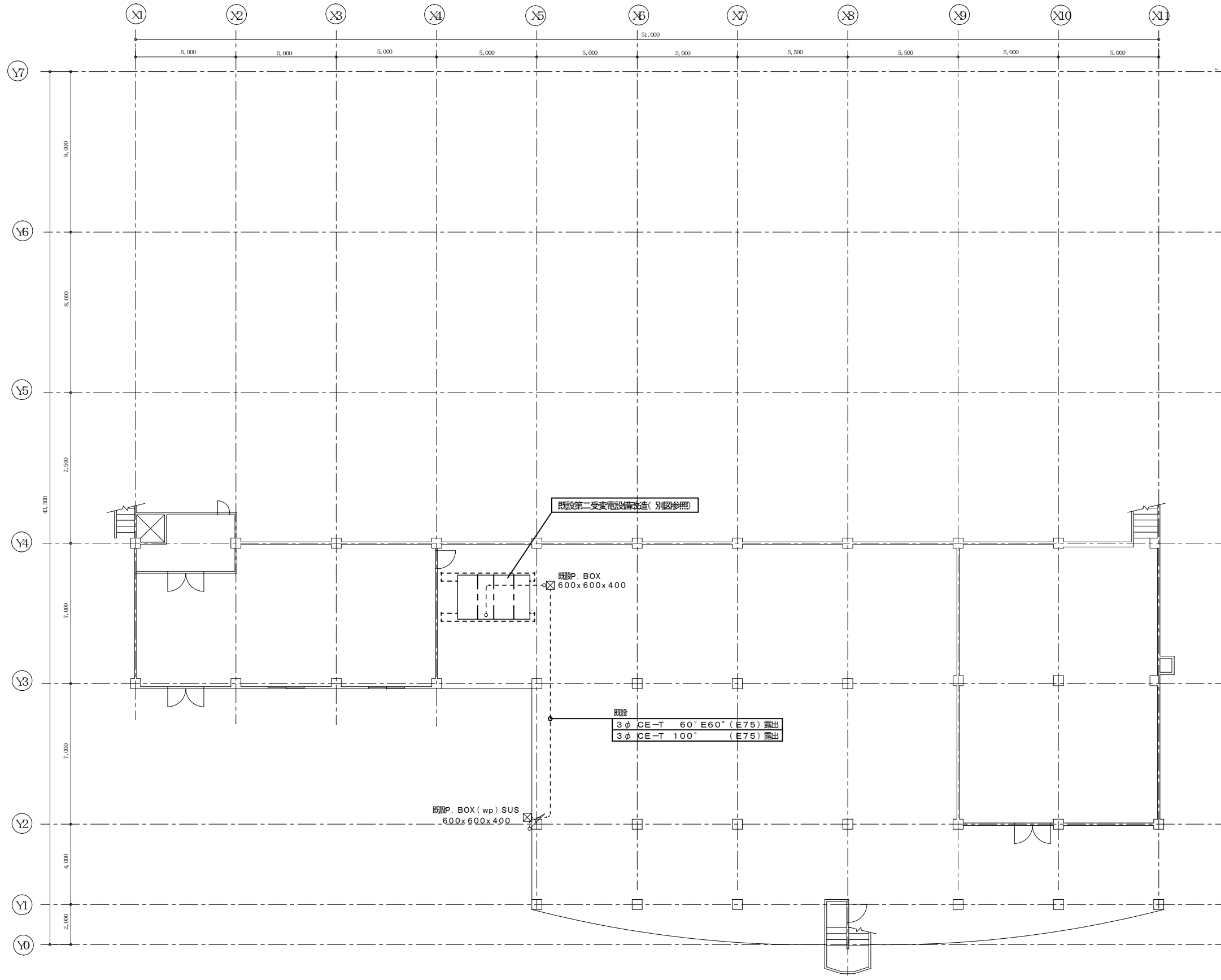
※1 改修済み

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺 N/S	鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	E-03
			図面名称 電気設備 既設第一・第二高圧受変電設備改造単線結線図	

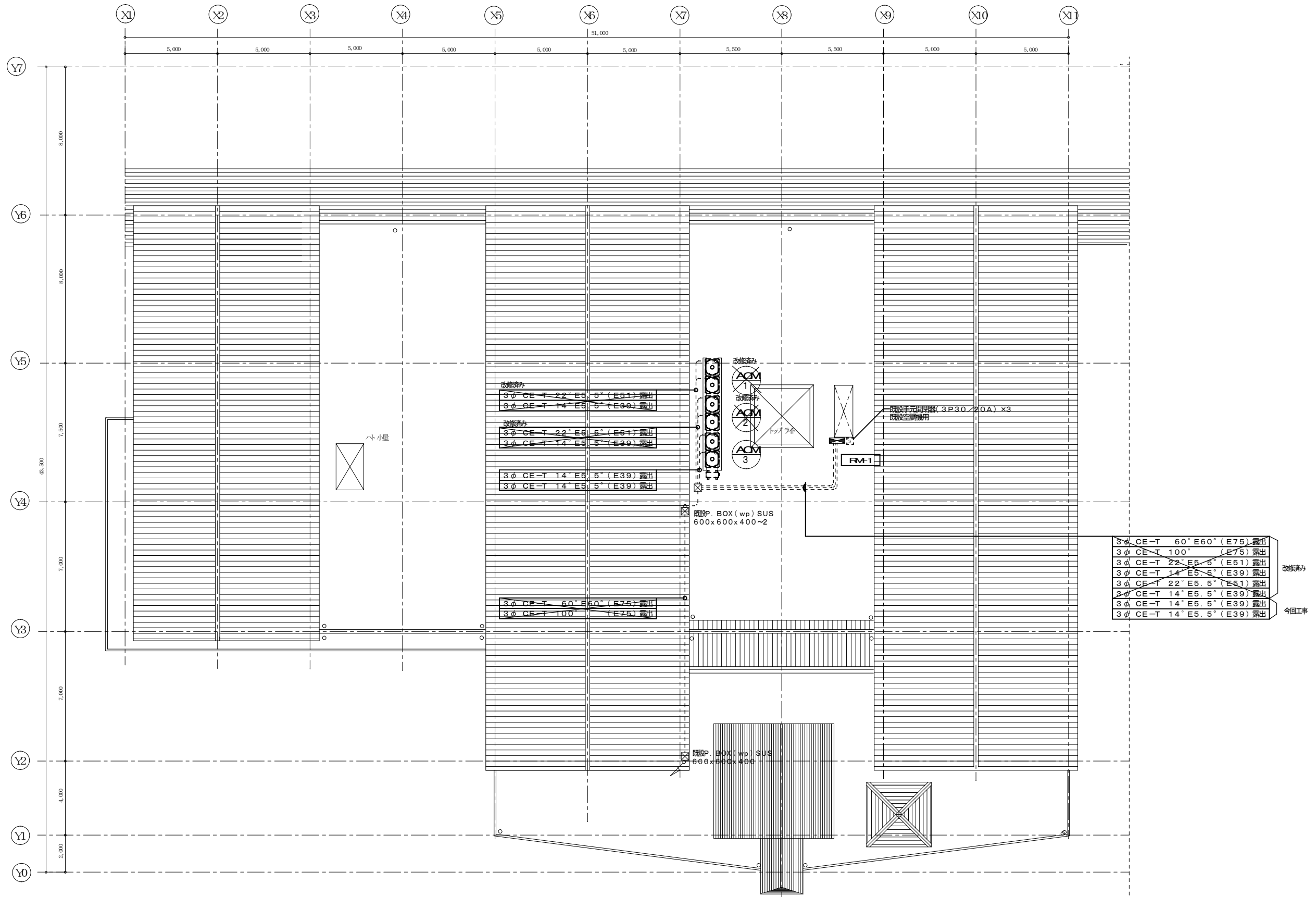
RM-1 (屋外自立型)	回路番号	制御方式	分岐開閉器				電圧 (V)	負荷容量 (kw)	負荷名称	備考
			ELB	MCB	P	AF/AT				
<p>TOTAL=20.24(24.13)kw</p>	A	○	3	50/50	200	9.08	空調室外機 ACM-1	低温暖房-10.88		
	A	○	3	100/60	200	11.16	空調室外機 ACM-1	低温暖房-13.25		
	A	○	3	50/50	200	9.08	空調室外機 ACM-2	低温暖房-10.88		
	A	○	3	100/60	200	11.16	空調室外機 ACM-2	低温暖房-13.25		
<p>TOTAL=38.4(45.89)kw</p>	A	○	3	50/50	200	9.08	空調室外機 ACM-3	低温暖房-10.88		
	A	○	3	50/50	200	9.08	空調室外機 ACM-3	低温暖房-10.88		
	A	○	3	50/50	200	9.08	空調室外機 ACM-3	低温暖房-10.88		
	A	○	3	50/50	200	9.08	空調室外機 ACM-3	低温暖房-10.88		



図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺	島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	E-04
		N/S	電気設備 盤類結線図	



図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号
		縮尺 A2=1/150 A3=1/212	図面名称 電気設備 設備図 (B1F)	E-05



図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺 A2=1/150 A3=1/212	鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事 電気設備 設備図 (屋上)	E-06

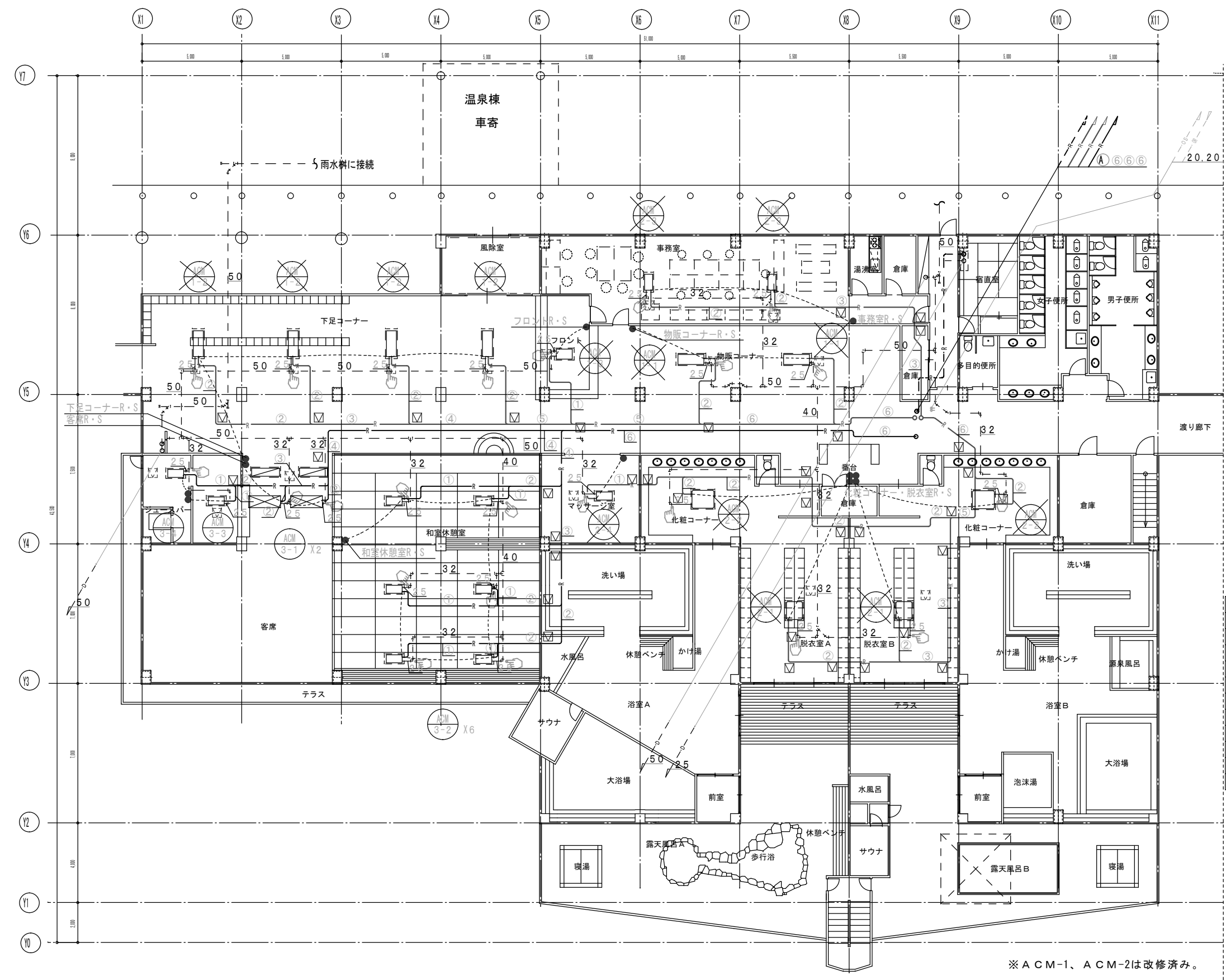


改修後

凡 例	
記 号	名 称
— R —	冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管
— D —	ドレン管：硬質ポリ塩化ビニル管

空調機器表		形式 ヒートポンプ式									
記 号	機器名称	形 式	仕 様	電 気 容 量					台数	備 考	
				相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 (kW)	送風機 (kW)				
ACM-3	ビルマルチエアコン	形 式	室外機	3	200	7.40+7.40	内 (kW)	外 (kW)	0.46X2	1	設置場所：屋上 室外機重量：205X2 kg
	高暖房能力	冷房能力	56.0 kW								
		暖房能力	63.0 kW								
		冷房消費電力	18.72 kW								参考品番： PUHY- IP560SDMG5
		暖房消費電力	18.04 kW								
		低温暖房消費電力	21.06 kW								
		付 属 品	防振架台、室外機鉄骨架台、他付属品一式								
		基 礎	高調波対策仕様 既設流用 ※暖房能力は-7℃定格暖房能力とする。								
ACM3-1	ビルマルチエアコン	形 式	天井ビルトイン形	1	200		0.244			2	設置場所：客室(板の間) 室内機重量：42 Kg
	室内機	冷房能力	11.2 kW								
		暖房能力	12.5 kW								
		冷房消費電力	0.30 kW								参考品番： PDFY- P112GM7
		暖房消費電力	0.28 kW								
		付 属 品	後吸込用フィルターボックス、メンテナンスパネル 角ダクトフランジ、ドレンアップメカ、予備フィルター 防振吊り金具、他付属品一式								
ACM3-2	ビルマルチエアコン	形 式	天井カセット2方向吹出	1	200		0.05			6	設置場所：和室休憩室 室内機重量：28 Kg
	室内機	冷房能力	4.5 kW								
		暖房能力	5.0 kW								
		冷房消費電力	0.04 kW								参考品番： PLFY- P45LM7
		暖房消費電力	0.04 kW								
		付 属 品	化粧パネル、標準フィルター、ワイドパネル SAフランジ、ドレンアップメカ、予備フィルター 防振吊り金具、他付属品一式								
ACM3-3	ビルマルチエアコン	形 式	天井カセット2方向吹出	1	200		0.05			1	設置場所：ジュースバー 室内機重量：28 Kg
	室内機	冷房能力	4.5 kW								
		暖房能力	5.0 kW								
		冷房消費電力	0.04 kW								参考品番： PLFY- P45LM7
		暖房消費電力	0.04 kW								
		付 属 品	化粧パネル、標準フィルター、ワイドパネル SAフランジ、ドレンアップメカ、予備フィルター 防振吊り金具、他付属品一式								
ACM3-4	ビルマルチエアコン	形 式	天井カセット2方向吹出	1	200		0.05			1	設置場所：パントリー 室内機重量：27 Kg
	室内機	冷房能力	2.2 kW								
		暖房能力	2.5 kW								
		冷房消費電力	0.03 kW								参考品番： PLFY- P22LM7
		暖房消費電力	0.03 kW								
		付 属 品	化粧パネル、標準フィルター、ワイドパネル SAフランジ、ドレンアップメカ、予備フィルター 防振吊り金具、他付属品一式								
	リモコンスイッチ	形 式	ワイヤード式リモコンスイッチ							4	
注 記	<p>運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。</p> <p>空調機トッランナー基準改定仕様とする。</p> <p>冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。</p> <p>室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。</p> <p>リモコン配線共本工事とする。</p> <p>室内機：耐震振れ止め、転倒防止を施す事。</p>			<p>機器は同等品以上とする。</p> <p>機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。</p> <p>但し該当しない機器については製造業者標準仕様による。</p>							

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 M-02
		縮尺 N/S	図面名称 温泉棟 機械設備 空調機器表・凡例 改修後	



(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	12.7φ	6.4φ	EM-CEES1.25°-2C
②	15.9φ	9.5φ	EM-CEES1.25°-2C
③	19.1φ	9.5φ	EM-CEES1.25°-2C
④	22.2φ	9.5φ	EM-CEES1.25°-2C
⑤	25.4φ	12.7φ	EM-CEES1.25°-2C
⑥	28.6φ	15.9φ	EM-CEES1.25°-2C

\*連絡配線は冷媒共巻きとする  
 ● 空調リモコンスイッチ  
 --- EM-CEES1.25°-2C  
 室内機2次側電源は既設電源に接続とする。

改修工事凡例

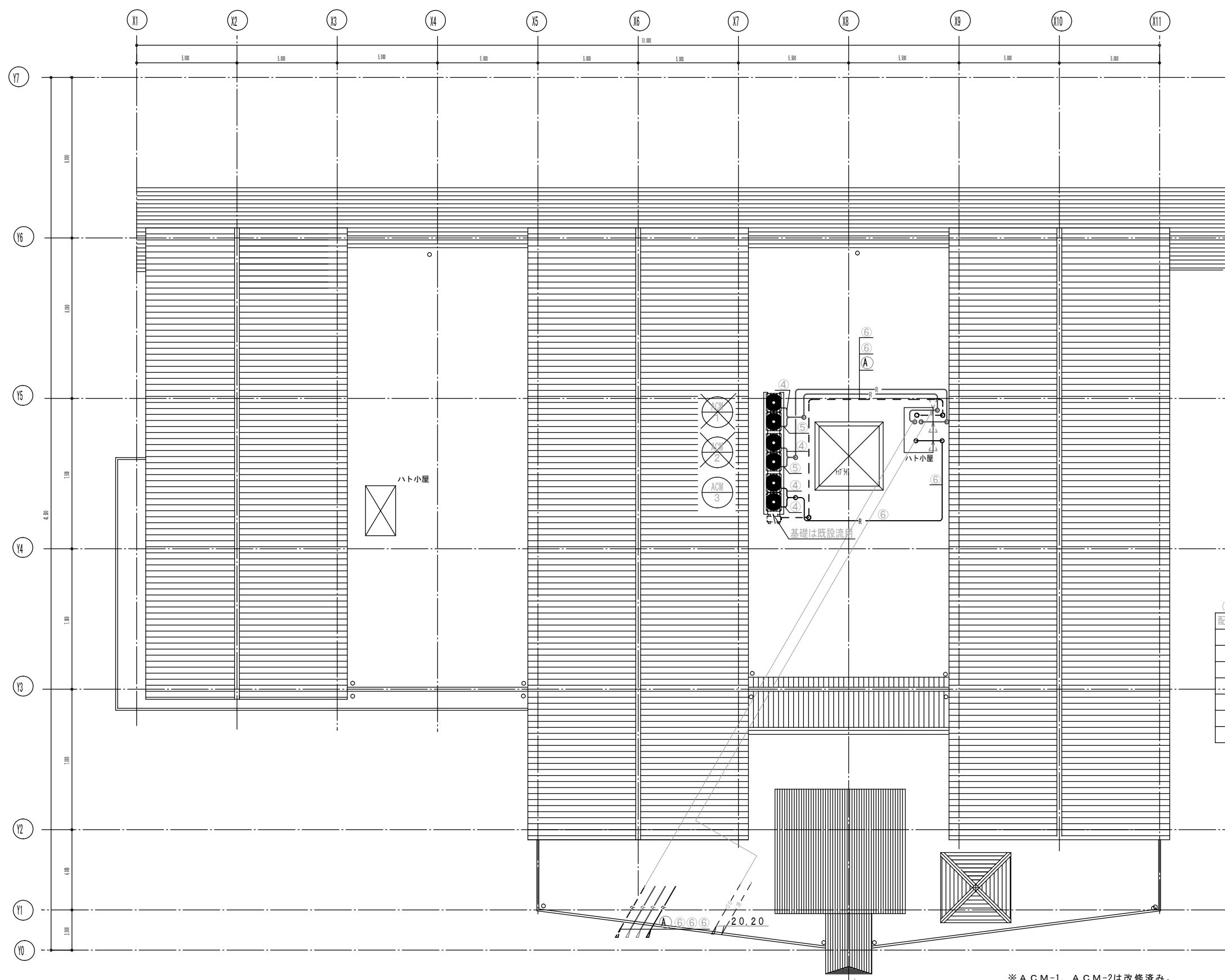
—	今回施工工事を示す
---	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
◀	既設貫通箇所を示す
☒	新設点検口を示す
☒	既設点検口を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。  
 梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。  
 ※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日 R2.10	工事名称 鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受電設備改修工事	図面番号 M-03
		縮尺 1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調平面図 改修後	



改修後



(参考)

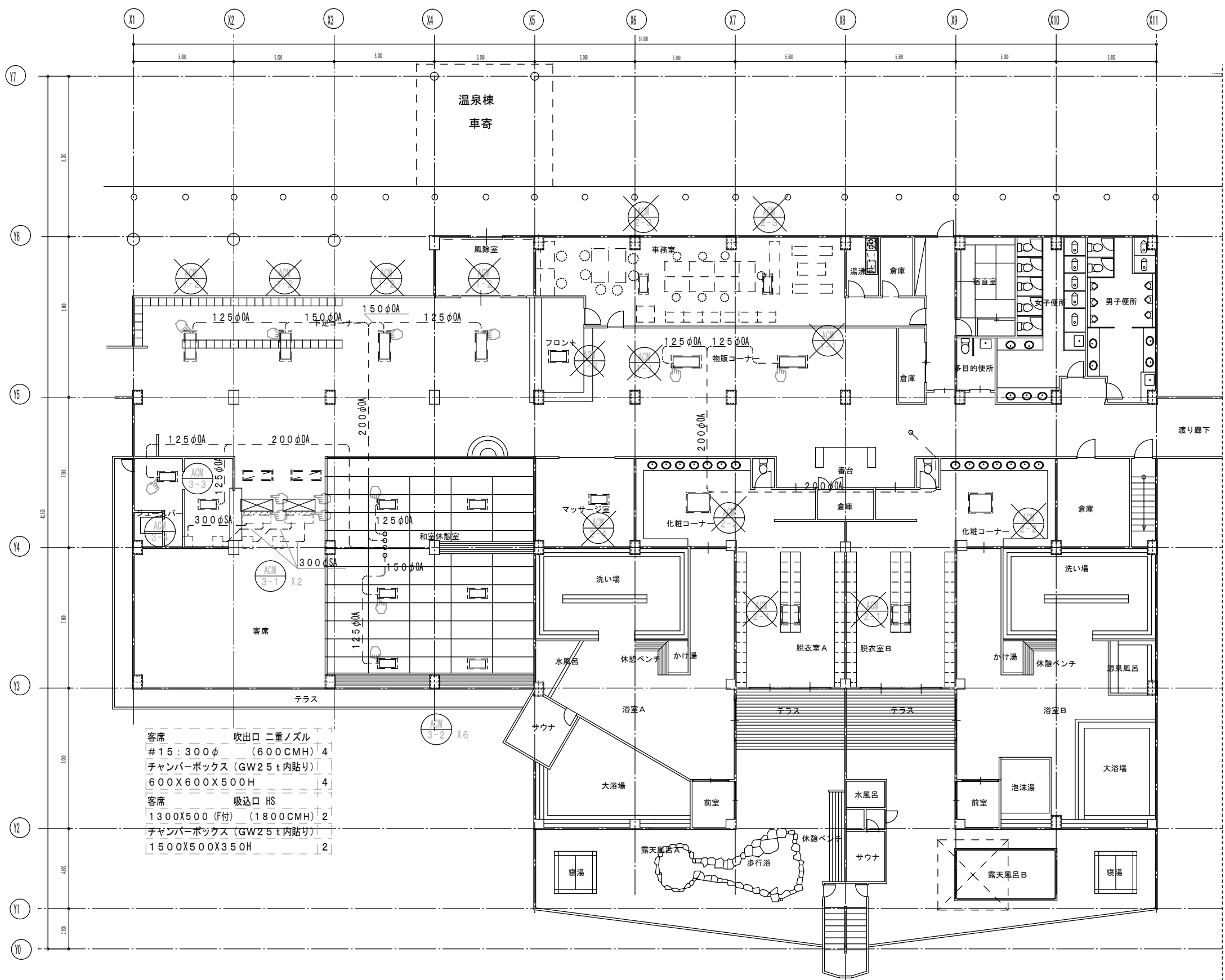
配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	12.7φ	6.4φ	EM-CEES1.25 <sup>+</sup> -2C
②	15.9φ	9.5φ	EM-CEES1.25 <sup>+</sup> -2C
③	19.1φ	9.5φ	EM-CEES1.25 <sup>+</sup> -2C
④	22.2φ	9.5φ	EM-CEES1.25 <sup>+</sup> -2C
⑤	25.4φ	12.7φ	EM-CEES1.25 <sup>+</sup> -2C
⑥	28.6φ	15.9φ	EM-CEES1.25 <sup>+</sup> -2C

改修工事凡例

—	今回施工工事を示す
- - -	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◀ ☒	コア抜き貫通箇所を示す
◀ ☒	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。  
 梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。  
 ※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 M-04
		縮尺 1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調R階平面図 改修後	



改修工事凡例

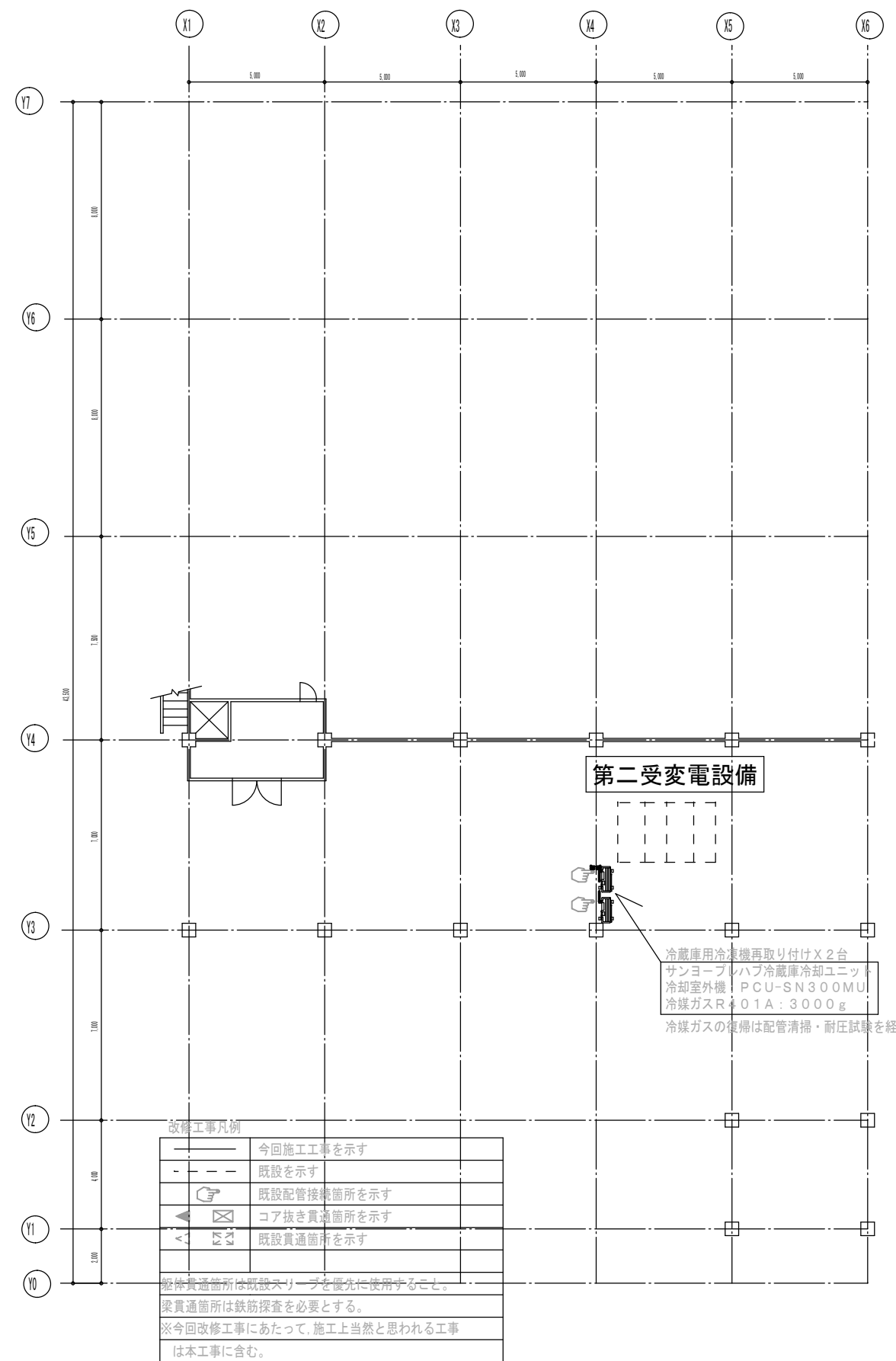
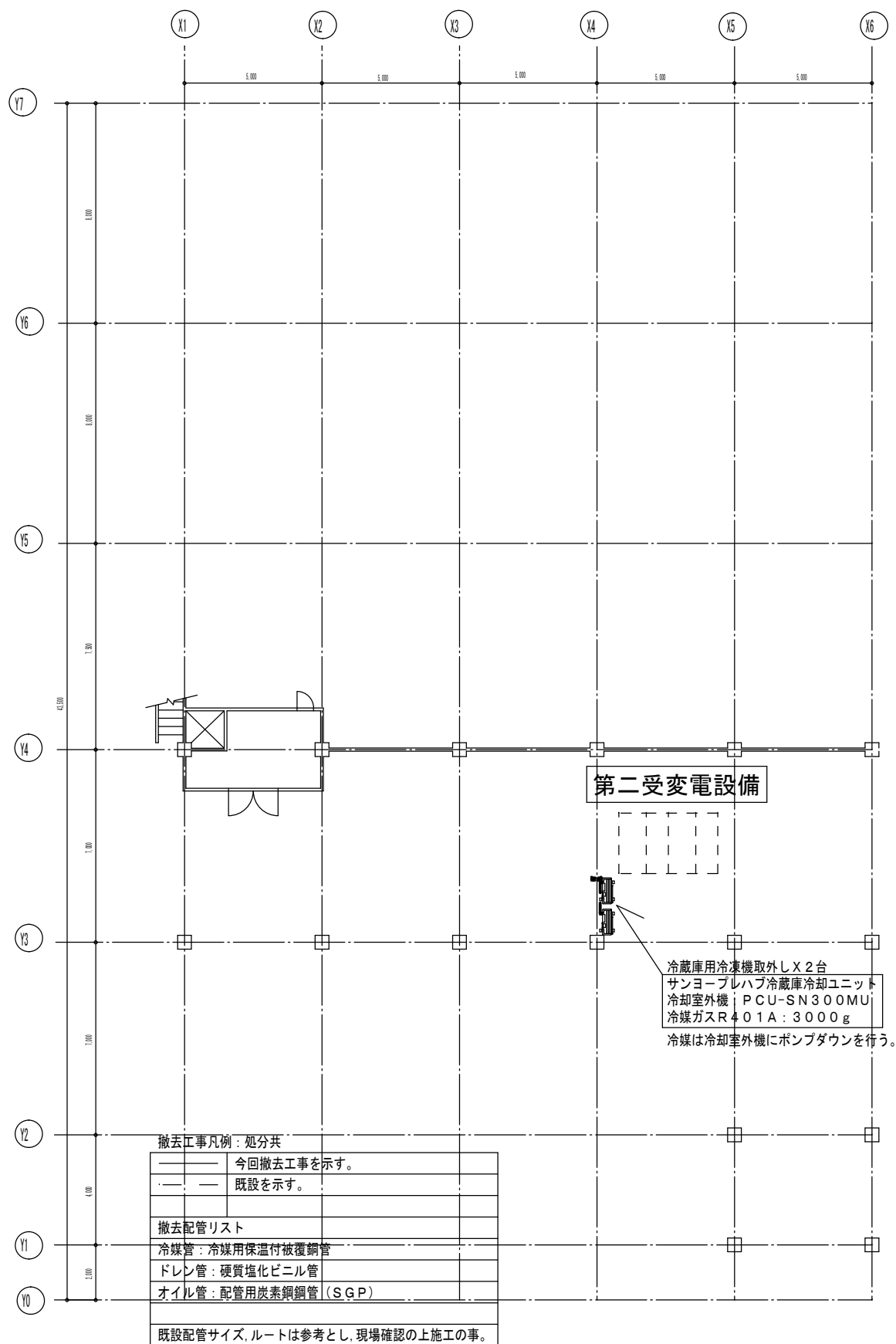
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。  
 梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。  
 ※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺	鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	M-05
		1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調ダクト平面図 改修後	

現況図

改修後



図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 M-06
		縮尺 1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調地階平面図 (現況図・改修後)	

撤去機器表：灯油エアコン

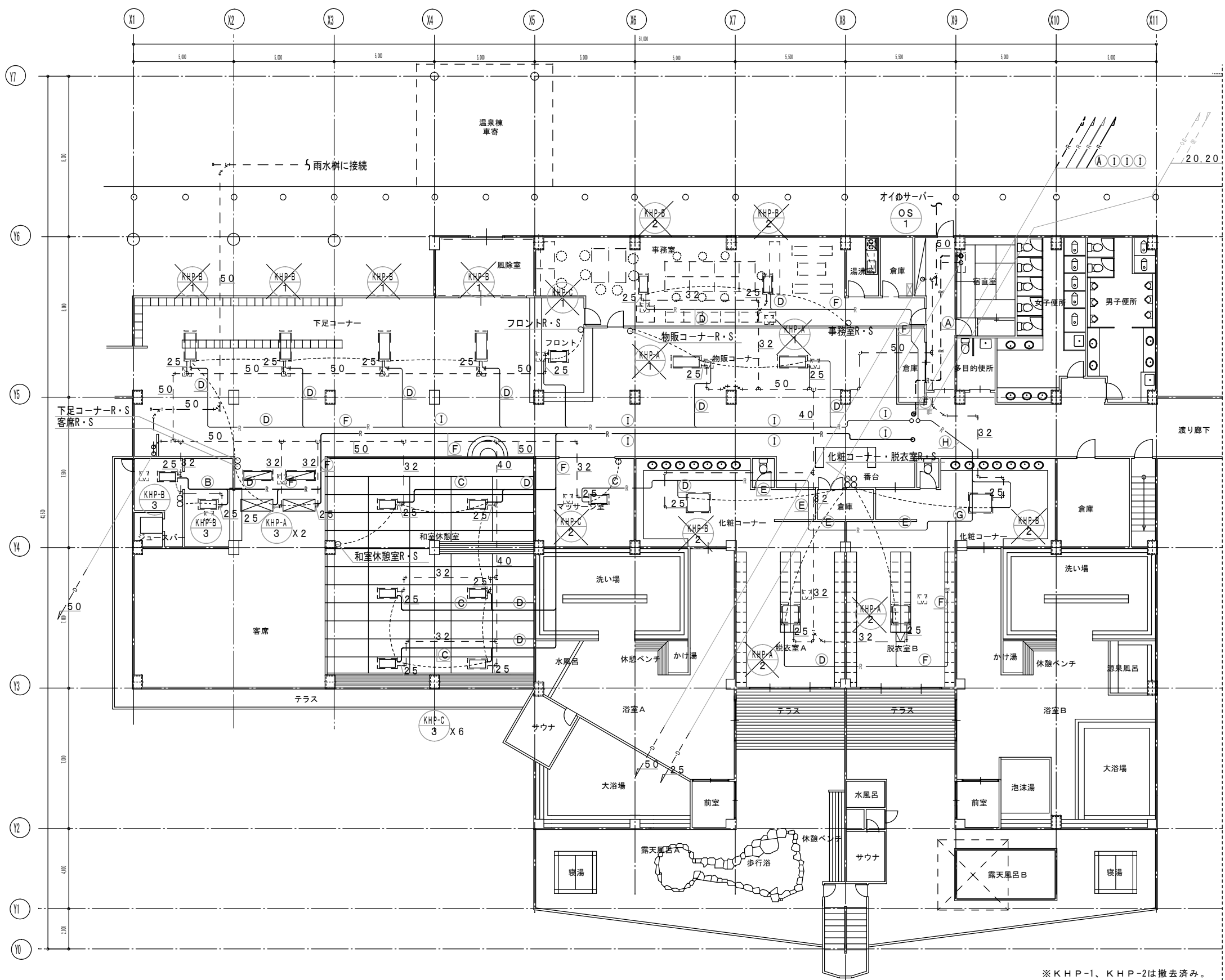
機器番号	型 式	数量	設置場所 階・室名	冷房能力 KW	暖房能力 KW	相当馬力 KW	エンジン		送風量		電気特性（消費電力）		電源 φ-V	灯油消費量（KHP）		コントロールシステム		冷媒配管接続サイズ		フィルター	防 振	屋内機付属品		備 考
							定格出力 KW	換気容量 CC	風量 m <sup>3</sup> /H	出力 kW	冷房 KW	暖房 KW		冷房 L/hr	暖房 L/hr	リモコン スイッチ	制 御	液側 φm/m	ガス側 φm/m			化粧 パネル	ドレン アップメカ	
KHP-1	屋外機ビル用マルチ	1	屋上（下足・物販コーナー系統）	56.0	67.0	20	15.0	2,216			1.43	1.66	3-200	4.8	4.2			19.1	38.1		スプリング防振架台			寒冷地仕様、室外機基礎建築工事
KHP-1A	屋内機 2方向天井カセット形	2	物販コーナー	11.2	13.2	4			1,680	0.12 (4P)	0.217	0.178	1-200			1		9.5	19.1	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-112H1N デンソー製
KHP-1B	屋内機 2方向天井カセット形	4	下足コーナー	9.0	10.6	3.3			1,200	0.05 (4P)	0.180	0.148	1-200			1		9.5	19.1	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-90H1N デンソー製
KHP-1C	屋内機 2方向天井カセット形	1	フロント	2.2	2.8	0.8			480	0.03 (4P)	0.080	0.054	1-200			1		9.5	12.7	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-22H1N デンソー製
KHP-2	屋外機ビル用マルチ	1	屋上（事務室・脱衣・洗面コーナー系統）	56.0	67.0	20	15.0	2,216			1.43	1.66	3-200	4.8	4.2			19.1	38.1		スプリング防振架台			寒冷地仕様、室外機基礎建築工事（1,500×2,200×H200）
KHP-2A	屋内機 4方向天井カセット形	2	脱衣室A・B	11.2	13.2	4			1,680	0.08 (6P)	0.214	0.175	1-200			2		9.5	19.1	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-112H1N デンソー製
KHP-2B-1	屋内機 2方向天井カセット形	2	事務室	9.0	10.6	3.3			1,200	0.05 (4P)	0.180	0.148	1-200			1		9.5	19.1	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-90H1N デンソー製
KHP-2B-2	屋内機 4方向天井カセット形	2	洗面コーナーA・B	9.0	10.6	3.3			1,260	0.04 (6P)	0.174	0.140	1-200			2		9.5	19.1	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-90H1N デンソー製
KHP-2C	屋内機 2方向天井カセット形	1	マッサージ室	5.6	6.7	2.3			660	0.03 (4P)	0.098	0.072	1-200			1		9.5	15.9	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-56H1N デンソー製
KHP-3	屋外機ビル用マルチ	1	屋上（和室・板の間系統）	56.0	67.0	20	15.0	2,216			1.43	1.66	3-200	4.8	4.2			19.1	38.1		スプリング防振架台			寒冷地仕様、室外機基礎建築工事（1,500×2,200×H200）
KHP-3A	ビルトインオールダクト形	2	客室（板の間）	11.2	13.2	4			1,800	0.14 (4P)	0.266	0.257	1-200			1		9.5	19.1		防振ゴム		○	DKH-SSH-112H1N デンソー製
KHP-3B	屋内機 2方向天井カセット形	1	ジュースバー	4.5	5.3	1.8			660	0.03 (4P)	0.098	0.072	1-200			1		9.5	15.9	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-45H1N デンソー製
KHP-3C	屋内機 2方向天井カセット形	6	和室	4.5	5.3	1.8			660	0.03 (4P)	0.098	0.072	1-200			1		9.5	15.9	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-45H1N デンソー製
KHP-3D	屋内機 2方向天井カセット形	1	パントリー	2.2	2.8	0.8			480	0.02 (6P)	0.082	0.055	1-200			1		9.5	12.7	ロングライフフィルター	防振ゴム	○	○	DKH-SSH-22H1N デンソー製
OS-1	オイルサーバー	1	倉庫 1	屋内据付型 灯油用 19リットル/Hr×10m×1φ-100V-16w																				
OS-2	オイルサーバー	1	屋上	屋内据付型 灯油用 19リットル/Hr×10m×1φ-100V-16w																				
(備考) ・能力表示JIS条件時とする							・上記機器はすべて新冷媒とした																	
・予備品、フィルター100%							・スプリング防振架台は、固有振動数4.2Hz以下とした。																	
・集中リモコン（窓数16）1面、機器の取り付け・結束・調整は本工事にて行った。																								
・リモコンスイッチの配管・配線は電気工事としたが、機器の取付・結束・調整は本工事とした。																								

改修済み

※冷媒ガスは「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル）」に基づき適正に処理する事。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 M-07
		縮尺 N/S	図面名称 温泉棟 機械設備 空調機器表 現況	

現況図



冷媒口径表

記号	配管サイズ mm	
	液管	ガス管
A	6.4	9.5
B	9.5	12.7
C	9.5	15.9
D	9.5	19.1
E	12.7	25.4
F	12.7	28.6
G	15.9	31.8
H	19.1	31.8
I	19.1	38.1

撤去工事凡例：処分共

—	今回撤去工事を示す。
---	既設を示す。

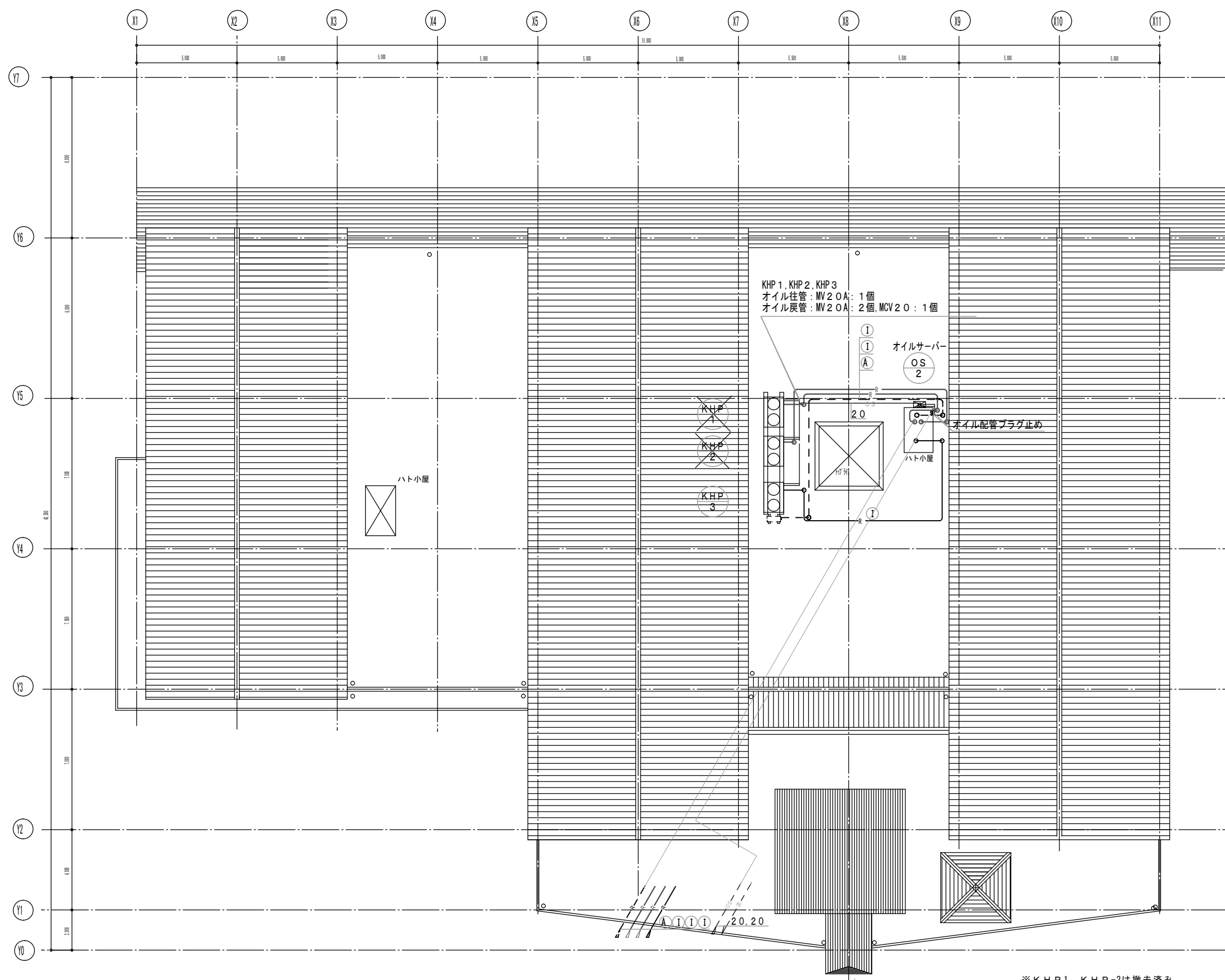
撤去配管リスト

- 冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管
- ドレン管：硬質塩化ビニル管
- オイル管：配管用炭素鋼銅管 (SGP)

既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 M-08
		縮尺 1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調平面図 現況図	

現況図



KHP 1, KHP 2, KHP 3  
 オイル往管: MV 20A: 1個  
 オイル戻管: MV 20A: 2個, MCV 20: 1個

オイルサーバー  
 OS  
 2

ハト小屋

オイル配管プラグ止め

冷媒口径表

記号	配管サイズ mm	
	液管	ガス管
A	6.4	9.5
B	9.5	12.7
C	9.5	15.9
D	9.5	19.1
E	12.7	25.4
F	12.7	28.6
G	15.9	31.8
H	19.1	31.8
I	19.1	38.1

撤去工事凡例: 処分共

——	今回撤去工事を示す。
---	既設を示す。

撤去配管リスト

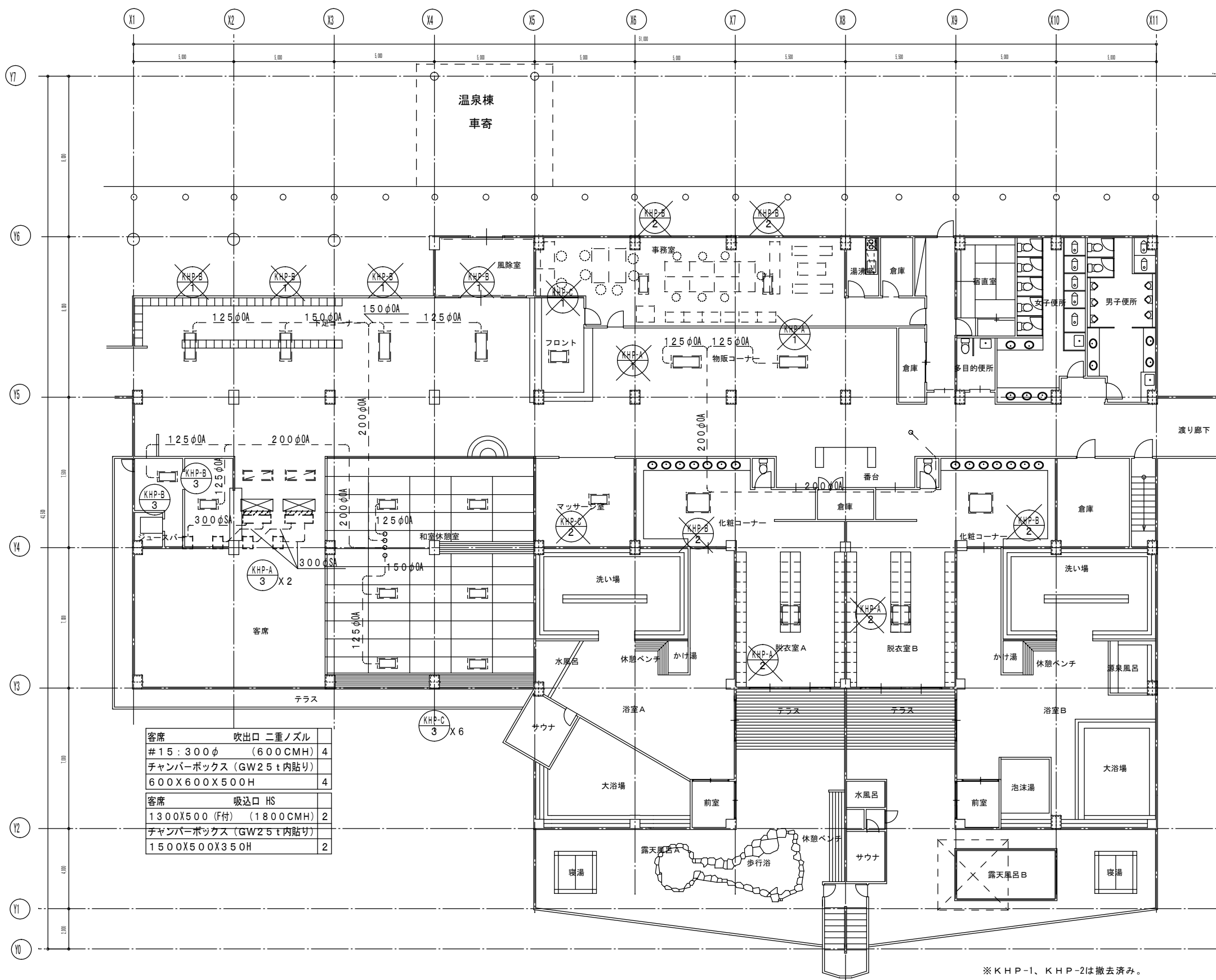
冷媒管: 冷媒用保温付被覆銅管
ドレン管: 硬質塩化ビニル管
オイル管: 配管用炭素鋼銅管 (SGP)

既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。

※ KHP 1、KHP 2は撤去済み。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日 R 2 . 1 0	工事名称 島ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	図面番号 M-09
		縮尺 1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調R階平面図 現況図	

現況図



撤去工事凡例：処分共

—	今回撤去工事を示す。
---	既設を示す。

撤去配管リスト

冷媒管	冷媒用保温付被覆銅管
ドレン管	硬質塩化ビニル管
オイル管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)

既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。

図面訂正年月日	特記事項	作図年月日	工事名称	図面番号
		縮尺	鳥ヶ原温泉やぶつちや空調設備及び高圧受変電設備改修工事	M-10
		1/150	図面名称 温泉棟 機械設備 空調ダクト平面図 現況図	